

## 令和7年産水稻の生育状況について（7月10日現在）

- 古川農業試験場の5月9日移植の「ひとめぼれ」では、草丈は71.7cm(平年比112%)、1㎡当たりの茎数は557本(平年比88%)、葉色はGM値※<sup>1</sup>が38.7(平年差+1.2)、葉数は10.9枚(平年差+0.4枚)となっている。幼穂※<sup>2</sup>長は7.4mm(平年差+5.8mm)となっており、平年より1日早い7月6日に幼穂形成期※<sup>3</sup>に達したとみられる。
- 今後も高温が続くと予想されていることに加え、出穂前から出穂後30日頃までの期間は、稲が最も水を必要とする時期であるため、土壌を湿った状態に保つ「ほうすいかんり飽水管理※<sup>4</sup>」を行う。
- 葉色が低下しているほ場では、必要に応じて追肥を行う。

※1 GM値：葉に含まれている葉緑素量の測定値。栄養状態を把握するもの。  
 ※2 幼穂（ようすい）：茎内部で作られる「若い穂」。  
 ※3 幼穂形成期（ようすいけいせいき）：幼穂が1mm以上の長さになった時期。出穂（しゅつすい）：穂が出ること）の25日前頃。  
 ※4 飽水管理（ほうすいかんり）：足跡に水が溜まる程度に土を湿潤状態に保つ水管理方法。  
 必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

## 2 具体的データ

### (1) 生育調査結果（古川農業試験場 ひとめぼれ）

移植日	草丈			茎数			葉色			葉数			幼穂長		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)
5月9日	71.7	107	112	557	82	88	38.7	+3.1	+1.2	10.9	+0.2	+0.4	7.4	+5.6	+5.8

### 【参考】

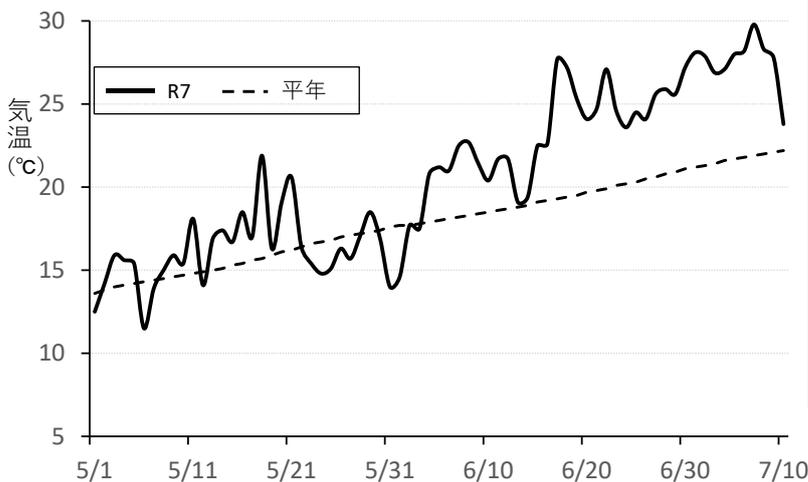
#### 県内品種別（古川農業試験場及び各農業改良普及センター調べ）

品種名	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
ひとめぼれ	69.5	105	107	473	93	92	36.6	-3.1	-3.6
ササニシキ	67.1	104	107	473	85	79	34.2	-5.0	-4.8
つや姫	71.4	111	113	435	93	87	37.6	-1.7	-4.3

#### 移植時期別（ひとめぼれ、古川農業試験場及び各農業改良普及センター調べ）

移植時期	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
5/1~9	72.9	106	110	542	100	96	37.5	-0.1	-3.3
5/10~19	69.1	106	109	452	92	92	35.4	-5.1	-3.9
5/20~31	66.3	107	104	499	86	86	38.9	-1.3	-3.5

### (2) 平均気温の推移及び旬別の気象データ（仙台アメダス）



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
5月	16.2	0.6	277.5	252%	185.9	97%
月上旬	14.5	0.2	100.0	347%	71.4	115%
月中旬	17.6	2.4	19.5	51%	60.3	101%
月下旬	16.4	-0.6	158.0	363%	54.2	78%
6月	22.8	3.6	62.5	43%	213.3	148%
月上旬	20.0	1.9	15.5	46%	69.9	116%
月中旬	23.0	3.9	28.5	57%	64.2	146%
月下旬	25.3	5.0	18.5	31%	70.8	179%
7月 月上旬	27.6	5.8	4.5	7%	54.6	144%

※次回は出穂状況の調査結果を7月下旬に発表予定です。